

米価は、令和元年度と令和3年度の売上比較で4億4千万円の大減収 J A一俵単価 8月105000円 9月100000円 10月93000円 コロナ禍前と比べ J A 1俵単価減収は50000円に拡大。1反歩8俵換算で4万円の減



市内1500戸の米作農家 令和元年度比 4億4千万円の減収

食糧米、一般農家・兼業農家への支援を

【稲敷市 収入減農家へ補助】 2022.1.30

市は営農計画書を提出している市内の稲作農家を対象に支援を行う。本年度のコメの生産数量の目安を達成している場合は10アール当たり6千円、未達成の場合は同4千円と差をつけ補助。2月中に対象者に申請書を送る。事業費は約1億4900万円で、国の交付金を活用する。

取、一町歩で40万円の減収になりま

令和4年度新規飼料用米・米粉用米（かすみがうら市）

国交付金 収量に応じ	複数年産地交付金			市単独助成金 市
	国	県	地域	
55,000~105,000	取組条件有 複数年契/ 6,000	取組条件有 6,000	取組条件有 新規0 4,000	15,000
	R4からの新規分0 R4からの新規分0 R4からの新規分0			

取組条件有（市農業再生協議会事務局にお問い合わせ下さい）

農林水産課の試算一般農家、大規模農家への次期策補助が必要である。

模担い手農家の減収は総額で4億4千万円。農家への減収補填対策、個別所得補償は打ち切られたまま。行政の補償はないのか」との悲痛な声が届く。本年の米価対策は更に厳しく、国は更に減反、麦大豆飼料作物への転換飼料用米・米粉用米への転換交付金を示すのみ。米価の下落で農家は窮地に陥っている。1俵9,000円では大幅な赤字経営とならざるを得ない。作付決断の時を迎えている。稲敷市のように



第12回全国肉牛事業協同組合枝肉共励会の画像第12回全国肉牛事業協同組合枝肉共励会の画像



発酵飼料・発酵肥料で取り組む「発酵食品特集」
地産地消のエサで育まれた
霞浦牛、日本一に
かすみがうら市「みやじま牧場EPO」から



2021年3月第12回全国肉牛事業協同組合枝肉共励会の交雑種部門

かすみがうら市にある「みやじま牧場」自慢のオリジナルブランドホルスタインのメス牛に黒毛和牛を交配させて生まれた第一世代F1と呼ばれる牛です。

日本一獲得！
で、グランドチャンピオン賞（日本一）を受賞しました！



「天秋柿」県内初、つくばで品評会
最優秀県知事賞を受賞 下稲吉の小倉頭さん
優秀賞に牛渡の薬師寺福蔵さん
60年間の成果 発酵肥料で育てた「こだわりの柿」

霞浦牛とは
F1は、体格の大きなホルスタインと、肉質の優れた黒毛和牛を合わせたことで大変美味しい牛肉となりました。

甘く大きな柿作りに
自作肥料で
自作肥料の造り方
・菜種油粕・骨粉・魚粉・米ぬかに、発酵促進剤のコラーン1kgを入れ、適度の水と混ぜて、



地産地消
現在7割以上の原料が国産、サツマイモやレタスなどを近隣農家から仕入れる、飼料米は地元かすみがうら市産を使用。トウモロコシを自家栽培するなど、

出して、黒毛和牛に負けない美味しい牛肉「霞浦牛」を生産しています。

賞状
小倉頭
発酵肥料
（自作肥料の成分）
N 5.5% P 10% K 2% 苦土 1.5%
灰分 15%
（参考価格）1反歩 上のう袋 16袋
・菜種油粕 20kg 1,310円×2袋
・骨粉 20kg 1,810円×1袋
・魚粉 20kg 2,600円×1袋
・コラーン 1kg 600円×1袋
・米ぬか 20kg（合計7,630円）

発酵飼料
サツマイモや米は蒸して発酵させ、トウモロコシは3カ月寝かせて1年分保存するなど、エサや飼育環境など牛にとって何が良いかを考え実践しています。

地産地消を実現。
手で握った時にバラバラになる程度に練り合わせます。それを土のう袋に小分けに入れ、雨が当たらないように物置などに積んでおきます。

◎3週間程で発酵し熱が出ますが中まで発酵させるために一度袋を開けて攪拌します。土のう袋を使うのは通気性を良くするため。仮にビニール袋などに入れて密閉すると通気性が悪くなり、発酵せずに腐敗が進んでしまい、強烈な臭いを放つようになるので要注意。